

たんぽぽ通信

Dandelions

2023.11

始良市立加治木幼稚園便り

PHONE 62-2502

FAX 62-2524



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

期間中に延べ126人の皆さんが参観してくださいました。芋掘りや園開放（ドレミファらんど）、焼き芋パーティーなどの様々な行事もありましたが、子供たちの日常の様子もたくさん観ていただけたのではないかと思います。それぞれの組での生活は、既に折り返し地点を過ぎて後半に入っています。たくさんのお友達と一緒に仲良くべるようになったり、組さん。友達や保育者とふれあう中で、自分の思いを伝えたり、友達の話を聞いたりしながら遊びを楽しんでいるうさぎ組さん。友達と一緒に協力したり、話し合ったりしながら遊びを進めているきりん組さん。これからも、仲間と一緒にいろんな経験を積み重ねながら、大切なことをたくさん学んでいきます。

野菜作りから広がる・つながる

一人一鉢に植えたサニーレタスとサンチュ、プランターに植えたラディッシュが、順調に育って、食べ頃を迎えています。

そこで、少量ずつですが、持ち帰るようにしています。帰ってから、お家の方が子供と一緒に洗ったり切ったりして、大事に食べたというお話を聞き、その時の子供の表情を想像して、こちらまで笑顔になりました。

一方、収穫できないものもあります。無農薬なので、アオムシが、毎日とてもおいしそうに食べるのです。私にとって、害虫にしか見えないアオムシですが、子供たちにとっては「あっ、はらぺこあおむし。」「飼ってもいい？」「えさをたくさんあげなくちゃ。」と可愛い存在のようです。手のひらにのせたり、ケースに入れてレタスをあげたりしながら大切に育てようとしています。野菜育てから、いろいろな楽しい活動がどんどん広がっています。

「待つ」「問う」ことで

子育て中を思い返すと、子供が泣いているときや、嫌がっているとき、機嫌が悪いときなど、ついつい注意したり戒めたりしてしまいがちだった気がします。

ですが、幼稚園で過ごしていると、子供のその時々での行動や態度には必ず理由があり、思いがあるということを実感しています。

保育者が、子供に寄り添い、「どうしたの。」「どうしたいのかな。」などと優しく声を掛けながら、口を開いてくれるまで待つと、ほとんどの子供が「だって…。」と話し始めます。最後まで聞いてから、「じゃあ、〇〇ちゃんはどうしたいのかな。」と問うと、しばらく考えて、こうしたいと答えてくれる場合が多いです。

「待つ」「問う」間に、子供は心のもやもやを整理し、自分で考え、思いを言葉で相手に伝えるという大切な経験をしています。

楽しい！秋の活動紹介



「どこにあるのかな。」たくさん掘って、
やっと大きな芋を見つけました。



桜島大根の種子まきをしました。りす組さ
んが「パワー。」をふりかけてくれました。



焼き芋パーティで、園庭で焼いた芋を食
べました。中の色の違いにも興味津々でした。



加音ホールで劇団飛行船の「赤ずきん、三匹
の子ぶた」を観ました。

錦江幼稚園の皆さんが来てくれました



「ぐるんぱ」さんの読み聞かせを聞きました。



砂場などで一緒に遊びました。



おにぎり弁当は園庭でみんな一緒に食べました。

